熊本大学海外派遣留学生　報告書

氏名	P さん		
所属	文学部・総合人間学科		
留学先機関名	ワルシャワ大学（国名：ポーランド）		
留学先所属	□■特定の学部・研究科に所属（　　法学部・研究科） □　特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 □　その他：		
留学期間	2019 年　9 月 ― 2020 年 6 月	留学開始時 学年	4 年次
奨学金	□■JASSO 海外留学支援制度　　□　国際奨学事業 □　トビタテ！留学 JAPAN　【第　　期】 □　その他（　　）		

１．出発前の準備について

ビザの種類	□■有　　□　無 種類(留学生ビザ)	**ビザ申請先**	□■国内　　□　現地 場所(在日本ポーランド大使館)
必要書類、手続き 手続きに要した期間	● ビザ申請書- オンラインシステムで必要事項を全て記入のうえ、印刷・署名（パスポートと同じもの）したもの ● 写真 1 枚- 3 ヶ月以内に撮影された、フルカラーでパスポート規格を満たすもの（35mm×45mm）。背景は白色のみ可。顔は全体が写っており、高さが写真の 70%（32mm）以上を占めていること ● パスポート（旅券）- 過去 10 年以内に発行されており、有効期間が目的地からの出国日より 3 ヶ月以上残っているもの。未使用ページが最低 2 ページ必要 ● パスポートの顔写真ページのコピー ● 過去に取得したポーランド/シェンゲンビザがある場合、そのコピー ● （外国籍の方の場合）有効な日本の在留カード原本およびコピー（両面） ● ポーランドの大学からの入学許可証原本 ● 学費が支払い済みであることの証明- ポーランドの大学が学費の支払い確認後に発行する証明書。交換留学等で学費免除の場合、そのことが明記された大学発行の書類が必要。入学許可証等に併記されている場合はそれでも可 ● 日本の大学の在学証明書 ● 往復予約済み航空券または予約確認書- 搭乗者名・日時およびフライトナンバーの記載があり、日本 - ポーランド間の全ての経路が確認できるもの。復路の航空券を未購入または日程を変更する予定の場合、自筆署名入りの宣誓書（申請時点で復路の航空券を所持していない理由と、復路の航空券を後日購入する用意があり、滞在の目的が終了した後はポーランドから出国する意思を記したもの）を併せて提出 ● 滞在場所の証明書類- 大学が発行する学生寮の入寮許可書や滞在の全期間をカバーする賃貸契約書など、正確な住所および滞在可能期間が記載されたもの。入学許可証等に併記されている場合はそれでも可 ● 海外旅行傷害保険の加入証明書- ポーランドを含むシェンゲン圏で有効な、緊急一時帰国・救援・治療・入院や死亡などの費用を補償するもの。補償額は上述の医療項目の合計につい		

	て最低 30,000 ユーロ以上必要。滞在の全ての期間をカバーするもの。保険会社が発効する、被保険者氏名・有効地域・有効期限および補償項目と補償額が確認できる証明書を提出する ● 滞在資金を証明する書類（以下①,②のいずれか） ● 申請者名義の有効なクレジットカードの利用可能額（限度額）の証明書- カード会社が発行する、印鑑またはサイン入りの原本 ● ②申請者が所有するポーランドの銀行口座、あるいはポーランドに支店を持つ EU 加盟国の銀行口座の残高証明書原本 発行までの期間は 1 週間ほど。自身で直接東京のポーランド大使館に行かなければならない。
ビザ申請以外で必要な事前手続き	特になし。予防接種等も必要ない。
留学に向けて取り組んだ語学	■ 英語 □ 独語 □ 仏語 □ 中国語 □ 韓国語 □■その他（ポーランド語）
勉強方法	IELTS の試験対策として英語を勉強した。
留学先の手続き **（必要書類、大変だったこと、どのように取り組んだか等）**	英語の語学試験（IELTS）のスコア取得に苦労した。
事前の必要経費 **（留学前に必要な支払い費用）** **※概算費用**	□ 授業料 円 □ 寮費 円 □ 語学研修費 円 □ 教材費 円 □ビザ申請 円 渡航費（■片道 □往復） 150000 円 ■海外旅行保険料 176500 円 □ その他（ ） 円

２．渡航～到着時の生活について

<table>
<tr><td>利用航空会社</td><td>LOT</td><td>手配</td><td>LOT
※利用したサイト、旅行会社等</td></tr>
<tr><td>移動経路
※往路のみ</td><td>なし（直行便）</td><td>到着
時刻</td><td>午後 4 時ごろ
【※移動時間（約 11 時間）】</td></tr>
<tr><td>大学（寮）への
移動手段</td><td colspan="3">□大学手配の出迎え　□知人の出迎え　□タクシー
■公共交通機関（■バス　□電車）　□その他（　　）</td></tr>
<tr><td>空港から移動する際の注意点
行き方、料金等</td><td colspan="3">空港前のバス停から 30 分ほどで行ける。乗り換えも必要ない。チケットは確認されることはほぼないが、必ず買うこと。買っていないことが分かると罰金が課される。</td></tr>
<tr><td>住居のタイプ</td><td>■寮　□アパート
その他（　　）</td><td>住居
手配</td><td>■大学の斡旋　□自分で
その他（　　）</td></tr>
<tr><td>部屋の種類</td><td>□一人部屋
■二人部屋
その他（　　）</td><td>ルーム
メイト</td><td>□日本人学生
■他国からの学生
その他（　　）</td></tr>
<tr><td>住居の申込手順</td><td colspan="3">日本から申し込む。そのときの申込書をビザ申請時の住居の保証として提出する。</td></tr>
<tr><td>住居でのトラブル
および解決方法</td><td colspan="3">特にトラブルはないが、入り口にレセプションが 24 時間ある。また、それとは別で事務窓口もある。</td></tr>
<tr><td>大学への交通手段
（※費用がかかれば費用も）</td><td colspan="3">バス、トラム、徒歩いずれでも行ける。ワルシャワ大は市街地にあるため、移動は困ることはない。</td></tr>
<tr><td>生活費および内訳
（概算を円換算）</td><td colspan="3">生活費計　70000 円／月
（生活費内訳）
住居費：　12000 円／光熱費：　　円／通学費：　　円
食費：　30000 円／通信費：　　円／書籍代：　10000 円
その他：（観光等の交遊費）　18000 円

※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの：　　円
（徴収された費用の名目：　　）</td></tr>
<tr><td>その他生活で必要な手続き、アドバイス
（口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など）</td><td colspan="3">現地の銀行口座はおおよそ必要ない。種々の支払い（寮費など）も振り込み書を郵便局に持っていって振り込むのが一般的。
携帯電話は、買い切りの SIM カードがどこにでもある。パスポートさえあればアクティベートでき、すぐに使える。</td></tr>
</table>

３．留学先の大学について

授業（カリキュラム）の概要について	希望の学部をモチベーションレターなどに書いても、そのとおり振り分けれるわけではない。むしろ、日本にいるときにオンラインで授業を登録しなければならない（これは履修登録とは別）が、そこで申請していた授業が多く含まれる学部に機械的に振り分けられている印象。注意したほうがいい。 履修登録は現地でおこない、履修同意書を提出する。
履修登録の時期 **登録方法**	■渡航前　　■渡航後　　⇒　（　　9 月頃） ■オンラインで登録　　□志願書類の提出 □その他（　　）
留学生特例措置 **（履修制限、優先措置、留学生専用のオリエンテーション、チューター制度等）**	■有り（具体的には以下のとおり） ・全体オリエンテーション ・学部のオリエンテーション ・ ・ □無し
留学先大学でのサポート体制について **（語学面／学校生活／住居・日常生活等）**	困ったことは留学生どうしでなんとかなる。ワルシャワ大の特異性を言えば、日本語学科があるので、その領域の人とコミュニケーションがとれればなおよい。
留学開始後に行った留学先大学の手続き **（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）**	・学生証の発行（大学から言われるとおり料金を納め、申請に行けば問題なく発行される。後日取りに行く。） ・履修登録（到着後、履修科目を決め、登録する。履修同意書を提出する。）
授業外活動について **（サークル、部活、インターン、フィールドワーク等）** ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に	ポーランドにサークル・部活に相当するものはない。 強いて言えば、タンデム（日本人とポーランド人の言語交換）や、個人的にポーランド人の日本語学科の授業に参加するなどすればよい。日本語学科の先生にメールして、参加した。イベントはフェイスブックで告知される。フェイスブックのアカウントは絶対にあったほうがいい。あっても困らない。

４．一週間のスケジュールについて

（授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください）

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00	起床	起床	起床	起床	起床		
9:00	自学	登校	自学		運動		
10:00	登校	授業	自学		読書	起床	起床
11:00	授業	授業	食事			買い物	運動
12:00	食事				食事		
13:00	授業	食事					
14:00	授業				部屋の片付け	食事	
15:00	自学	自学					
16:00	散歩・買い物						
17:00	散歩・買い物						読書
18:00	食事	食事		食事	食事		読書
19:00				授業			読書
20:00			食事	ポーランド語		食事	食事
21:00				ポーランド語		自学	
22:00	就寝	就寝				自学	
23:00				就寝		自学	
24:00						就寝	就寝

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

まず留学期間がかなり変動的になったけれど、その中でも得たものは多い。ポーランド語や英語の語学の成果はもちろん、どうさまざまな背景を持つ人とコミュニケーションするのかということや、どう一緒に遊ぶのかということや、どうやって、問題を解決して行くのかという日本に居るだけでは体験できないことについて大きな学びがあった。

困難なことは特に後期に入ってすぐ、たくさんあった。それでもほかの人の力を借りながら自分で自分の留学を何とかまとめあげようとすること、それも学びの 1 つだと今は感じる。具体的に言うと、世界的な新型コロナウイルスの蔓延の中ある意味で自分が当事者となってその影響を 受け、そのことについて考える経験になった。

期間や最初の計画からすると不完全であったり 完全に燃焼しきれなかった部分があるにせよ 例えば外国に行って生活をし帰ってくること、そのこと１つをとっても大きな経験や学びになるものだし、現に約留学予定の半分向こうで生活できたことはそれだけで有意義なことであった。

同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

・最初の授業登録は慎重にしたほうがいい
・フェイスブックのアカウントはあったほうがいい
・ワルシャワは立地もいいし、交通の便もいい。とにかく過ごしやすいところではあるけれど変わったところも多い。それを肌で感じるにはいいところだとおもう。

留学を通しての感想

できたことは多いが、できなかったこともそれと同じくらい多い。それはもちろん世界の情勢であったり 自分の力ではどうしようもないことであったりはする。それでも自分の能力不足であったりもした。自分の現在立っているところや、自分に何が出来て何が出来ないのか、自分が世界とどう関わっていくのかということについて認識できたことはかけがえのない経験であるといえる。ポーランドという国を選んで、未熟ながらもその中で、なんとか自分の留学をしようとしたことは、ただそれだけを切り取ってみても充分価値のあることだ。

またこれから海外に出ようとか、できなかったことをこれからやってみようという将来に対して前向きな気持ちになれた。向こうでの生活や、気持ちの変化、たくさんの経験やハプニングについて細かいことを言えば、言うことはできるけれど 今日本に帰ってきて言えることは留学経験そのものの意味と将来に向けた展望である。